

「支部長室」

桜前線のたよりを聞いても、三寒四温冬の寒さが有り、夏のような気温の時も有り、やっと春本番になったようです。

去る4月4日(金)は東京教区記念祭が晴天の中、勤められました。教区の境内の染井吉野桜が満開に咲いて青空に映えてとても綺麗でした。神殿にはお勤め奉仕者や参拝者が、開催時間を待ち、境内地は直会の模擬店テントの下には準備に勤しむひのきしんの人達が支度をしていました。

午前10時、親神様、教祖、祖霊様の参拝に始まり、座りづとめ、てをどりが7交替で勤められました。

正午からは内統領、宮森与一郎先生より記念講演で、静かに丁寧にお話を頂きました。記念撮影は有りませんでした。

午後1時が過ぎて中庭で模擬店が一斉に開始され、人気のフランクフルトや焼肉のテントには行列が出来、晴天の日差しも暖かく照り、大勢の人達が行き来して大変な賑わいでした。模擬店は、焼きソバ(品川)、フランクフルト(世田谷)、アイスクリーム(新宿)、バーキンカレー(杉並)、お団子(葛飾)深川めし(江東)、揚げたこやき(練馬)、焼肉・焼き鳥(荒川)、肉まん、じゃがバター(江川)、もつ煮(北多摩東部)、ポップコーン(浅草大教会)、飲み物は、生ビールサワー・日本酒・焼酎、他ウーロン茶・お茶・コーラ・ジュースなどが用意され大勢の人達の笑顔がいっぱいでした。

参加者は640名を越えたと思われる

おつとめ役割に当られた方、ご参拝下された方、ご苦労様でした。

◎ 支部長 須賀 睦司 ◎

「教区ひのきしん当番」

5月19日	1名 13組	栄 立
6月19日	1名 1組	本 住
7月19日	1名 2組	帝 徳
8月19日	1名 3組	川 中
9月17日 霊舎	1名 4組	本小台
9月19日	1名 5組	大 信
10月19日	1名 6組	浅 草

「ひのきしん奉仕者」

3月17日 霊舎	東豊島組	安齋健一さん
3月19日	本理昭組	石田八潮さん
4月3日	東華組	欠 席

◎教区ひのきしん当番は、午前9時30分から始まりますので、少し前の時間に、教区食堂にひのきしん参加者名簿に各自で記入下さいますようお願い致します。

「車いす基金ご協力をお願い」

いつも車椅子募金にお力添えを頂き誠に有難うございます。厚生部では本部の障害者支援活動に積極的に取り組んでおりますが、毎年、この車椅子基金を使っています。車椅子は殿内用として利用されていますが、年祭活動期間中に寄贈された車椅子は、登殿参拝用として活用されています。これ迄に寄贈された車椅子は西回廊のエレベーター1階および地下、第2御用場エレベーター1階に整備されており、毎月25日、26日を中心に帰参者に貸し出しされています。

車椅子の利用は、高齢化に伴い今後益々増えることが予想されます。帰参者が安心してゆっくり参拝出来るように、今後も車椅子基金活動を推し進めて参ります。今後とも車椅子基金へのご協力の程を宜しくお願い致します。 厚生部

「足立支部布教部・青年会
にをいがけ活動報告」

去る3月9日、青年会と布教部の合同でにをいがけ活動をさせていただきました。

竹ノ塚駅前にて路傍講演及びリーフレット配り。ゴミ拾いひのきしんに別れての活動をさせていただきました。青年会員1名、婦人会員4名、少年会員3名、青年会OB4名。合計12名でした。

ご参加頂きました皆様方、有難うございました。

青年会 小西 仁郎

「読書会より前年度配本、報告」
立教187年、令和6年度の配本。

2024年4／1	馬をたすけ人をたすけ	¥ 1,760-
8／1	ひな家の風景	¥ 1,980-
11／1	おたすけの心	¥ 990-
2025年3／1	心に吹く風	¥ 1,100-

合 計 額 ¥ 5,830-

上記金額を財産目録の図書部に加えて下さい。



「法人事務指導のご案内」

日時・6月9日(月) 10:00～15:00

会場・浅草大教会

◎ 支部幹事会と並行して行われます。

事務指導は先着申込順といたします。

例年通り検印後の決算所、財産目録、役員名簿のコピーを提出して頂きます。

財産台帳と事務処理簿の確認も有りますので、必ずご持参下さいますよう、ご案内申し上げます。

尚、事務指導諸費として1教会¥1,000-を各組長を通して支部会計に収めて下さいますようお願い申し上げます。

「夜巡り布教」 3月9日(月)

参加者・藤波芳雄、藤波つるえ、渡辺茂
中新井哲、鶴巻房雄、以上5名

声掛けした外国人(国名)スペイン4組
カンボジア、イングランド、ドイツ、
スイス、フランス、アメリカ(サンディエゴ)

外国人観光客は、日本は綺麗でゴミが落ちていない。安全だ。テロが少ない。日本人は礼儀正しく親切だと言う。更には精神文化、信仰心にも目を向けてもらいたいと思っている。

スペインから4組も来ていた。私は最近英語だけでなく、スペイン語もラジオ放送で聞いている。「日本へようこそ」くらいは言えるようにしたい。

アメリカ(サンディエゴ)から来た若者は、体格も良く、台湾で英語を教えていると言っていた。藤波さんの奥さんは、「さすがに英語の先生の渡辺さんの英語は聞き取りやすい」と言っていた。

カンボジアの人に「アンコールワットへ行った」と話したら喜んでた。

外国人観光客は世界中から日本に来ている。スペインの若者3人は、3ヶ月かけて日本を回ると言っていたので、鶴巻先生がスペイン語のパンフレットを渡してくれた。「奈良に行ったら天理にも寄って下さい」と話した。

英語でもっと深い話がしたいと思っています。今回も知的刺激を受けて「一列は皆、兄弟姉妹や」と実感しました。

峡 月 渡辺 茂